安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: アクシャル　ニュースター　ＡＮ

製造業者/輸入業者/販売業者情報

国内製造事業者等の情報

会社名: 花王株式会社
住所: (〒131-8501)東京都墨田区文花２－１－３
電話番号: 03-5630-7141
ＦＡＸ番号: 03-5630-7130
担当部門:
電子メールアドレス: ipv@kao.co.jp

緊急連絡電話番号: 03-5630-7141

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

物理化学的危険性

金属腐食性物質	区分 1

健康に対する有害性

急性毒性 (吸入－粉じん及びミスト)	区分 4
皮膚腐食性／刺激性	区分 1
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 1
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 3 (気道刺激性，麻酔効果)

ラベル要素

絵表示:

注意喚起語: 危険

危険有害性情報: 金属腐食のおそれ。
吸入すると有害。
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。
呼吸器への刺激のおそれ。
眠気又はめまいのおそれ。

注意書き
安全対策: 他の容器に移し替えないこと。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 取扱い後はよく洗うこと。 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置: 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 直ちに医師に連絡すること。 物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

保管: 耐腐食性/耐腐食性内張りのある容器に保管すること。 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 施錠して保管すること。

廃棄: 産業廃棄物処理業者に委託する。水質汚濁防止法などの関連法規に適合するよう廃棄する。

3. 組成及び成分情報

混合物

成分名	一般名および別名	CAS番号	含有率のパーセント（%）
炭酸塩	ー	企業秘密	
けい酸塩	ー	企業秘密	
硫酸塩	ー	企業秘密	
カルボン酸塩	ー	企業秘密	
非イオン系界面活性剤	ー	企業秘密	

4. 応急措置

必要な応急処置

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 直ちに医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護: データなし

最も重要な、急性及び遅発性の徴候及び作用

症状: データなし

危険: データなし

直ちに必要な医療および特別な処置

処置: データなし

5. 火災時の措置

適切な（および不適切な）消火剤

適切な消火剤: 水噴霧、粉末消火薬剤

使ってはならない消火剤: データなし

物質または混合物に起因する特有の危険有害性: データなし

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

特有の消火方法: 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。 この製品自体は、燃焼しない。

消防士のための特別な保護具: 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具及び緊急時措置: 作業には、必ず保護具（手袋・眼鏡）を着用する。多量の場合、人を安全に待避させる。必要に応じた換気を確保する。 風上から作業する。

封じ込めと洗浄の方法および材料: 電気掃除機（真空クリーナー）、ほうき等を使用して回収する。 粉塵が飛散しないようにして取り除く。

環境に対する注意事項: 漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。

二次災害の防止策: データなし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策
（局所排気、全体換気等）:

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄ができる設備を設置する。 粉塵が発生する場合は、局所排気装置を使用する。 鉄などを錆させるため、設備には防錆加工が必要である.

安全取扱注意事項:

皮膚および眼との接触を避けること。 粉塵を吸入してはならない。 適切な排気換気装置を使用する。取扱い後はよく洗うこと。適切な保護具を着用すること。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 酸との接触を避ける。

接触回避:

データなし

保管

安全な保管条件:

容器を密閉しておくこと。 換気の良い場所で保管すること。 耐腐食性/耐腐食性内張りのある容器に保管すること。 施錠して保管すること。 酸性物質と一緒に保管しない。

安全な容器包装材料:

データなし

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

暴露限界値

製品:

日本産業衛生学会: ２ｍｇ／ｍ３（吸入性粉塵）８ｍｇ／ｍ３（総粉塵）（第３種粉塵）その他の無機および有機粉塵
ＡＣＧＩＨ: 10 mg/m3 TWA (inhalable particles, recommended);
3 mg/m3 TWA (respirable particles,recommended)
(Particulates (insoluble or poorly soluble) not otherwise specified (PNOS))

個人用保護措置

眼/顔面の保護具:

保護眼鏡

手の保護具:

素材: ゴム保護手袋

皮膚及び身体の保護具:

長袖作業衣

呼吸用保護具:

必要により防塵マスク

衛生対策: データなし

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

外観	
物理状態:	固体
形状:	粉末
色:	白黄色
臭い:	ほとんど無臭
臭いの閾値:	データなし
融点:	データなし
沸点:	データなし
可燃性:	データなし
燃焼又は爆発限界の上限/下限	
爆発限界ー上限:	データなし
爆発限界ー下限:	データなし
引火点:	検出せず
自然発火点:	データなし
分解温度:	データなし
pH:	11.5 (0.2%溶液)
粘度（粘性率）	
粘性率:	データなし
動粘性率:	データなし
浮遊時間:	データなし
溶解度	
溶解度（水）:	可溶(易溶)
溶解度（その他）:	データなし
n-オクタノール／水分配係数:	データなし
蒸気圧:	データなし
比重:	データなし
密度:	1.0 g/ml (68.0 ° F/20.0 ° C)
相対ガス密度:	データなし
粒子特性	
粒子径:	データなし
粒度分布:	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性:	データなし
化学的安定性:	通常の使用では安定。
危険有害反応可能性:	安定
避けるべき条件:	酸との接触を避ける。
混触危険物質:	データなし
危険有害な分解生成物:	データなし

11. 有害性情報

急性毒性（可能性のある全ての暴露経路をリストアップする）

経口
製品: データなし

経皮
製品: データ不足のため分類できない。

吸入した場合
製品: 粉じん、ミストおよびヒューム
蒸気: データなし
成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

皮膚腐食性／刺激性
製品: データなし

成分:

けい酸塩	区分 1B: (87)
カルボン酸塩	区分 2: (1)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性
製品: データなし

成分:

炭酸塩	区分 2A: (87)
けい酸塩	区分 1: (87)
カルボン酸塩	区分 2A: (88)

呼吸器感作性又は皮膚感作性
製品: 皮膚: データ不足のため分類できない。
呼吸器: データ不足のため分類できない。

発がん性

製品: データ不足のため分類できない。

IARC:

発癌性成分は確認されておりません。

NTP:

発癌性成分は確認されておりません。

日本産業衛生学会:

発癌性成分は確認されておりません。

EU

発癌性成分は確認されておりません。

生殖細胞変異原性

インビトロ(in vitro)

製品: データ不足のため分類できない。

インビボ(in vivo)

製品: データ不足のため分類できない。

生殖毒性

製品: データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

製品: データなし

成分:

炭酸塩	区分 3: 気道刺激性, 麻酔作用: (1)
けい酸塩	区分 3: 気道刺激性: (8)

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

製品: データ不足のため分類できない。

誤えん有害性

製品: データなし

その他の影響: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性:

水生環境有害性 短期（急性）

魚類
製品: データ不足のため分類できない。

水生無脊椎動物
製品: データ不足のため分類できない。

水生植物毒性
製品: データなし

成分:
カルボン酸塩 区分 3 (88)

水生環境有害性 長期（慢性）

魚類
製品: データ不足のため分類できない。

水生無脊椎動物
製品: データ不足のため分類できない。

水生植物毒性
製品: データなし

残留性・分解性

生分解性
製品: データなし

ＢＯＤ／ＣＯＤ比
製品: データなし

生態蓄積性
生物濃縮係数（BCF）
製品: データなし

n-オクタノール/水分配係数（log Kow）
製品: データなし

土壌中の移動性: データなし

オゾン層への有害性: 規制されない

その他の情報: データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物: ”取り扱い及び保管上の注意”の章を参照。 産業廃棄物処理業者に委託する。水質汚濁防止法などの関連法規に適合するよう廃棄する。

汚染容器及び包装: データなし

14. 輸送上の注意

国際規則

IMDG

国連番号:	UN 3267
UN 正式輸送品目名:	CORROSIVE LIQUID, BASIC, ORGANIC, N.O.S. (Sodium metasilicate)
輸送危険有害性クラス	
クラス(Class):	8
ラベル(Label):	8
EmS No.:	F-A, S-B
容器等級:	II
少量危険物	1.00L
微量危険物	E2
環境有害性:	該当せず
海洋汚染物質:	該当せず
使用者のための特別な予防措置:	該当せず。

IATA

国連番号:	UN 3267
UN 正式輸送品目名:	Corrosive liquid, basic, organic, n.o.s. (Sodium metasilicate)
輸送危険有害性クラス:	
クラス(Class):	8
ラベル(Label):	8
容器等級:	II
微量危険物	E2
環境有害性:	該当せず
海洋汚染物質:	該当せず
使用者のための特別な予防措置:	該当せず。
その他の情報	
旅客および貨物輸送機:	許可されている。 851
貨物専用航空機に限る:	許可されている。 855
UN 正式輸送品目名 (JP):	その他の腐食性物質(有機物)(液体)(アルカリ性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)(Sodium metasilicate)

国内規制

国内規制: 国内法に従う。

応急措置指針番号: 154

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法
規制されない

労働安全衛生法
規制されない

毒物及び劇物取締法
規制されない

火薬類取締法:
規制されない

高圧ガス保安法:
規制されない

消防法:
危険物、指定可燃物に該当しない。

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律
優先評価化学物質:
アクリル酸重合物のナトリウム塩

船舶安全法・危規則:
危規則第３条危険物告示別表第１腐食性物質

航空法・施行規則:
施行規則第１９４条危険物告示腐食性物質

輸出貿易管理令
規制されない

登録状況:

TSCA:	Not in compliance with the inventory
Canada DSL Inventory List:	On or in compliance with the inventory
Australia AICS:	On or in compliance with the inventory
Korea Existing Chemicals Inv. (KECI):	Contact us for information
Japan (ENCS) List:	On or in compliance with the inventory
Japan ISHL Listing:	On or in compliance with the inventory
Philippines PICCS:	On or in compliance with the inventory
China Inv. Existing Chemical Substances:	On or in compliance with the inventory
REACH (EU):	Contact us for information
Taiwan Chemical Substance Inventory:	On or in compliance with the inventory

16.その他の情報

免責条項:

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上で御使用ください。当安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。貴社が、弊社当該製品をそのまま、あるいは弊社当該製品を配合し、米国へ輸出する際には、事前に弊社担当者へご連絡お願いいたします。
香料製品の場合は、香粧品原料として通常の使用ではＩＦＲＡスタンダードに適合しています。詳細については供給者に問い合わせて下さい。

引用文献:

・ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）（ＪＩＳ　Ｚ　７２５３：２０１９）
・国際化学物質安全性カード（ＩＣＳＣ）コンパイラーズガイド　日本語版国立衛生試験所化学物質情報部編、化学工業日報社、　１９９４年
・ＧＨＳ対応ガイドライン　ラベル及び表示・安全データシート作成指針、（社）日本化学工業協会、２０１９
(1): GHS 分類結果データベース，　独立行政法人　製品評価技術基盤機構 (NITE)
(8): OECD SIDS
(87): EU CLP 規則 付属書Ⅵ
(88): ECHA-REACH Registered Substances Database